

# 週間市場レポート (2019年9月9日~9月13日)

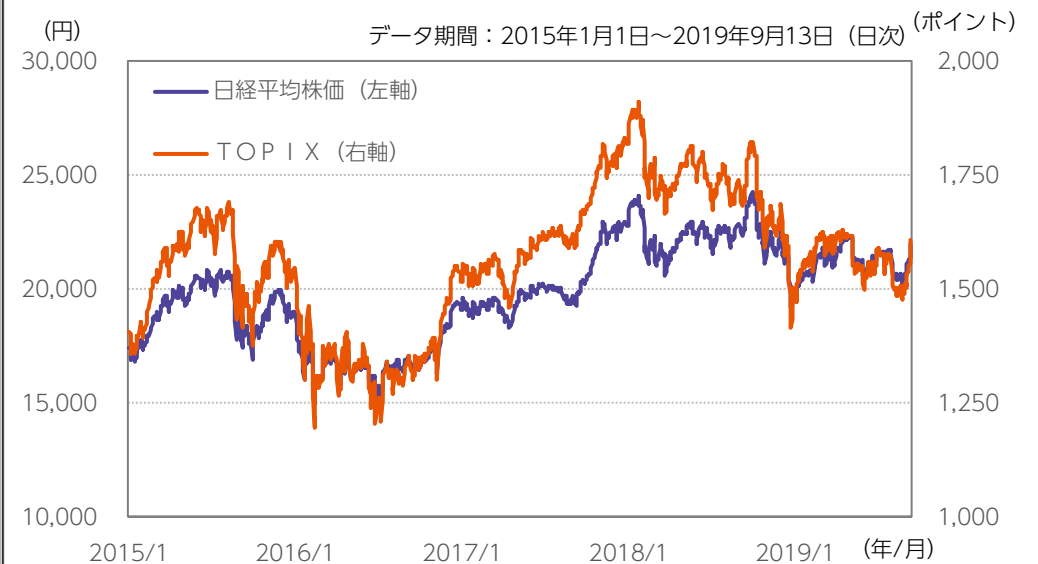
## 1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2019/9/6	先週末 2019/9/13	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		21,199.57	21,988.29	3.72 ↗
TOPIX (東証株価指数)		1,537.10	1,609.87	4.73 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)		26,797.46	27,219.52	1.58 ↗
S&P500種指数		2,978.71	3,007.39	0.96 ↗
ユーロ・ストックス50指数		3,495.19	3,550.11	1.57 ↗
S&P/ASX300指数		6,607.01	6,628.75	0.33 ↗
上海総合指数		2,999.60	3,031.24	1.05 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		777.77	789.66	1.53 ↗
東証REIT指数		2119.64	2123.91	0.20 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		785.44	767.27	▲2.31 ↘
ASX300 REIT 指数		1599.40	1588.00	▲0.71 ↘
グローバルREIT (除く日本)※		197.84	196.01	▲0.92 ↘
日本10年国債 (%)		▲0.24	▲0.15	0.08 ↗
米国10年国債 (%)		1.56	1.90	0.34 ↗
ドイツ10年国債 (%)		▲0.64	▲0.45	0.19 ↗
英国10年国債 (%)		0.51	0.76	0.26 ↗
ドル/円		106.92	108.09	1.09 ↗
ユーロ/円		117.89	119.72	1.55 ↗
英ポンド/円		131.32	135.16	2.92 ↗
豪ドル/円		73.20	74.37	1.60 ↗
フィラデルフィア半導体指数		1568.34	1605.65	2.38 ↗
WTI原油先物 (ドル)		56.52	54.85	▲2.95 ↘
CRB指数		172.62	174.79	1.26 ↗
アレリアンMLP指数		1,170.22	1,210.91	3.48 ↗

## 2) 日本の株式・債券市場

### ≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇となりました。米中通商協議に対する進展期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから週を通じて上昇となりました。12日（木）の欧州中央銀行（ECB）定例理事会においてさらなる緩和姿勢が示されたことも追い風となり、先週から引き続き9日続伸しました。



## ＜ 債券 ＞

日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。米中通商協議に対する進展期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らいだことなどから相対的に安全資産とされる債券は売りが優勢となりました（利回りは上昇）。



## 3) 米国の株式市場

### ＜ 株式 ＞

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。中国政府による追加関税製品の一部除外や、米国政府による制裁関税発動の先送りなど、米中通商協議に対する進展期待が高まったことなどから、投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、週末まで続伸となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

## 4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。米中通商協議に対する進展期待が高まり、投資家のリスク回避姿勢が和らぎ、週を通じて相対的に安全資産とされる円は売りが優勢となりました。



## 5) 今週の見通しについて

先週は、米中貿易摩擦を巡る緊張感がやや和らいだことや、12日（木）に開かれた欧州中央銀行（ECB）定例理事会において緩和姿勢が示されたことなどを材料に株式市場は週を通じて堅調に推移する展開となりました。

今週は、週中に日米の金融政策の決定会合を控えています。米国の利下げ、日銀の金融政策の現状維持はマーケットではほぼ織り込み済みと見られ、大きなサプライズはないものと考えます。先週1週間の上昇幅が大きかったことから、今週は利益確定売りが出やすくなることが予想されること、サウジアラビアの石油施設攻撃による原油価格の急騰を背景とした世界景気の減速懸念などから、今週の株式市場はやや下落基調となると予想します。ただし、米中協議にさらなる進展が見られるなど、市場がややリスクオンムードに傾いた場合は、下げ幅が限定的になることもありそうです。

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;

**ニッセイアセットマネジメント株式会社**

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120 - 762 - 506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>